

## 平成 22 年度第 4 回理事会次第

日 時 平成 22 年 8 月 21 日 (土) 13:30

会 場 千葉県社会福祉センター2 階会議室

1. 出席者及び資料の確認

2. 開会

3. 会長挨拶

4. 議 題

(1) 報告事項に対する質疑 (事前送付資料によりご確認ください)

(2) 議事(案)

1. 委員会体制について

2. 協賛依頼への対応について

(3) その他

5. 閉会

### 【三団体協議会】

日時：平成 22 年 8 月 1 日 13:00～

場所：千葉市中央コミュニティセンター

出席者：(P 協会) 山崎、西野、渡辺 (M 協会) 飯塚、吉成 (CSW) 岡本、櫻井、森池

#### 検討・報告事項

##### ①ソーシャルワーカーデイの栃木県イベント見学の報告

- ・行事は講演＋シンポジウムという馴染みのある形式だが、シンポジストに議員が含まれていたことが印象的だった。
- ・立ち寄った栃木県の共同事務所では、どのように運営しているのか聞くことができた。
  - \* 共通の事務員が名簿管理は行うが、会計等は各会で行う。
  - \* 6 団体の経費負担比率は会員数を基本に案分するが、財政規模も考慮して調整する。
  - \* 事務所の会議スペースの共用、研修等の一括受付、郵便・FAX の一括受理など魅力的。
- ・千葉でも共同事務所を目指す方向性については、P 協会の役員会でも反対は出なかった。
  - \* 現在 P 協会では事務所移転の話が出ており、業務の整理をしたところ、精神保健センターでの業務は名簿管理、郵便物処理、WEB 更新が主とのこと。CSW で委託を受けられる範囲と思われる。
  - \* 県の社会福祉センターも耐震基準からいつまでもいられるわけではなさそう。今後に向けて、良い場所はないだろうか。

##### ②研修について

- ・総武病院に施設使用願を三団体連名で提出する。
- ・各会長連名の鑑文を作成して、チラシに同送しても良い。
- ・今年度のテーマ等について
  - \* 『「地域で生きる」を支援する』のシリーズで考えたい。
  - \* これまで当事者の話を聞く機会がなかったので、ピアサポや、「WRAP」の増川ねてる氏はどうか。
  - \* 「WRAP」とグループ討議を組み合わせられるか。
  - \* WT の中からは、「虐待対応」のテーマを再度行っても良いのではないか、という声もあった。
  - \* 「成年後見」も相変わらず興味深いテーマで希望が多い。
- ・来年度は 7 月のソーシャルワーカーデイに三団体研修を行う見通しのため、一般向け講座も兼ねて「成年後見」をテーマにしてみる。
  - \* 一般向けではグループ討議が難しい→二部制にしても良いのではないか
  - \* 後見制度の普及と費用補助の要望書を県・市町村に→SW デイの研修に来賓で県・政令市の課長級を来賓で呼び、その場で要望書を渡しても。
  - \* 海の日ではなく、その前の土曜日にしたい。

##### ③犯罪被害者支援について

- ・連絡会のネットワークに三団体がどこも加わっていないので、検討してはどうか、と提案をもらった。
- ・一度話を聞く事ことには異論無し。次回打合せに併せ県担当者に声をかけ、説明を聞く。出席不可であれば別途日程調整し県にヒアリングの上次回三団体打合せで報告。
- ・その後各会役員会にて資料提示し対応を諮る。

次回：12月19日(日)13:00～

## 【企画部会】

日時：平成 22 年 8 月 4 日(水) 19:00～

場所：ヒューマンレインボー事務所

出席者：岡本、桜井、鈴木、高橋、目黒

### 報告・検討事項

#### ①総務委員会の報告

1-0 のとおり。

#### ②3団体協議会の報告

上記のとおり。

#### ③世話人会について報告

出席者：高吉(君津)、佐藤(船橋)、西澤、(山武)、矢島(習志野・八千代)、岡本、桜井、森池

<山武地区より>

\*地域集会そのものは軌道に乗り始めたが、メンバー固定化している。

⇒案内と同時に前のまとめを送付して興味を持ってもらうようにしている。

\*案内に返信があった人から、徐々にメールを活用し、経費削減に努めている。

\*会の PR 兼ねて地元(山武市)の社協祭りに出展する。収益をどうするか検討してほしい。

<習志野・八千代地区より>

\*世話人同士がたまたま近所なので話がしやすい。

\*会場は交通の便がよく懇親会も移動しやすいところにある公民館に固定。

\*先日の会では、サイコロトークを実施。

\*今後は新たな領域の情報提供をできる人に協力を求めている。

<船橋地区>

\*今期から 2 名体制で一年おき程度に 1 名交代を考えている。

\*広く浅くではなく広く深く勉強することを考えている。

\*地域集会は毎度、16 時頃から 2 時間で開催し、その後 2 次会の流れ。

\*テーマを決めると参加者が増える手応えを感じている。

⇒その都度参加者に聞いて次回に結びつけたい。社会福祉士としての地域実践に結びつく場にしたい。

\*資格を取得したものの何に活かすか分からないという意見もあり、どんなことでも勉強したいと考えている人もいる。反面、特に若手で勉強したいがお金がないという人もいる。入り口になる会にしたい。新人には常連ばかりの会には参加しづらい。

<君津地区>

\*地区の特徴としては、社会福祉士であっても会員になっていない人が多い。他の職能は研修等実施しているが社会福祉士会関係は聞いたことがないので、他地区の地域集会を参考にしてみたい。

<美浜・稲毛地区>

\*過去に点と線の発送作業で集まった際は、「地域で職に就いていないので、地区の情報を知らない」という方が多かった。

\*新たに転入してきた人も多いと思われ、元々の地元と離れていると気分的に開催しづらいことを最近感じている。

\*地域にどんな人がいて、そんな活動をしているか掘り起こしたい。

<その他、情報交換>

- ・ M 協会からも、M のブロックと地域集会でコラボ出来ないかという話がある。
- ・ 地区のイベントにて得た収益については地区の独立採算で処理していただいて構わないが、用途は参加者に説明できるようにしてほしい。また、社協祭りであれば一部を社協に寄付してほしい。社協広報誌に名前が出れば PR にもなる。
- ・ 会の PR として、ノボリを使用していただいて構わない。
- ・ 開催要項、手引きのフローチャート、申請フォーマットを再度メーリングリストに発信する。

④地域集会のバックアップについて

- ・ これまで具体的な支援に欠ける部分があったため、これを機に、企画部会でパッケージをもち、希望する地区の世話人と連携して実施していきたい。  
⇒会場の確保、日程の設定、案内発送と募集、懇親会は各地区の役割とし、講師との調整、進行、チラシや資料の作成は企画部会で準備するなど。
- ⇒テーマに、接遇やコミュニケーションなどの研修を入れてみてはどうか。資格を取得したばかりの人や社会人になったばかりの新人、小規模な職場で研修の機会が少ない人、など参加の間口を広げるための戦略としても期待できるのではないかな。

⑤企画部会入会希望者について

- ・ メーリングリストへの登録確認→了承が得られ次第アドレスを追加。
- ・ 次回集まる際に参加してもらおう。

次回企画部会：9月18日(土)もしくは25日(土)

## 広報部会報告

- ・ 今回は、広報部会としての会議は開催なし。
- ・ 『点と線』第73号発行。
- ・ WEB版 8月5日(木)発行
- ・ 印刷版 8月11日(水)発送
  - 今回の発送作業は、地域集会としての活動にリンクできる地区がなかったため、広報部会及び企画部会の総務委員会で行い、吉田理事にご参加いただきました。
  - 本来は、7月中の発行予定でしたが、紙面レイアウトの変更に加え、原稿が揃うまでに時間がかかったことで入稿及び版下作りに時間がかかり、8月に入ってしまった。次号以降の反省点としたい。
  - 次号第74号は11月発行予定。

## 総務委員会活動報告

### 総務委員会打ち合わせ

- ・ 平成22年7月14日 19:00～千葉県社会福祉士会事務局  
出席者: 櫻井委員長、五十嵐・鈴木理事  
広報部会: 森部会長、山口、松本  
企画部会: 高橋部会長、岡本、森池
- ・ 広報活性化事業(新規事業アイデア募集)について
  - 現在は7つ提出された企画から2つに絞り、ヒアリングを終えた段階である。
  - 野田氏の「内部連携外部対応システム」と小村氏の「災害福祉部会」
  - 「災害時における福祉士としての活動」という点について、独立型社会福祉士委員会の活動内容としても理事会にて承認されているため、独立型委員会での活動に小村氏の提案を反映させ、将来的に部会としての活動を独立させていくことは出来ないか、と提案。
  - 事前に小村氏にその件について打診したところ、小村氏のアイデアとしてはアプローチが違うため、同一の活動として行っていくべきではない、との考え。また、独立型委員会も目指す方向性があるため活動内容として掲げているため、安易に同一化すべきではない、との意見。
  - 小村氏の考えは災害ボランティアのスキルを社会福祉士も身につけておくべきとのもの、独立型のイメージは平素の連携から災害時の対応をというものではなかったか。
  - 今回提案されたアイデアは、災害時に社会福祉士としてできること・するべきことをイメージし、会としてそれをどのように具体化していくかについて検討する良いきっかけになると思われる。最初から「部会立ち上げ」ありきの話ではなく、「災害時に社会福祉士としてするべきこと」について検討するワーキンググループを立ち上げ、そこでの検討の結果が、単独の部会を立ち上げることなのか、会として横断的に対応すべき問題なのかを考えていければよいのではないか。
  - 可能であれば、独立型社会福祉士委員会の方にもWGに参加してもらえれば議論が広がると思われる。
  - 野田氏のアイデアについては、名称から事業がイメージしにくいいため、
    - これ、困ってるんだけど。にすぐに答えられるシステム
    - 悩める福祉士サポート事業を外部の方も使えるシステム
    - 相談できる福祉士マップ(職場に多数電話が来ると困る…という課題あり)などとし、具体的にどんな方法が考えられるかを検討するWGを立ち上げることとしたい。
  - 両アイデアについては、7月発行予定(実際の発行は8月)の『点と線』第73号にて、ワーキンググループを募集することとし、9月15日を〆切としてメンバーを確定することとしたい。
  - 各部会でワーキンググループのサポートに入るメンバーを決めておく。
- ・ 公益法人対応
  - 企画部会として対応するだけでなく、三役にも参加してもらい、毎月理事会に報告していくことで外部理事にも意見をもらうことも必要。具体的な進め方については次回検討。
- ・ 組織率アップキャンペーン
  - 数値目標を明確化する必要がある、と思われる。具体的な進め方については次回検討。

次回 9月開催予定。

**地域包括支援センター一部会報告事項**

**報告事項**

① 高齢者虐待対応専門職チーム

7月1日 浦安市高齢者虐待防止ネットワーク担当者会議「高齢者虐待の対応について」講師 須田 仁氏

8月10日 鴨川市担当者会議派遣 須田 仁氏

② 高齢者虐待対応アドバイザーコースについて

5名受講終了。(前期 6月26～28日、後期7月24、25日)

③ 地域包括社会福祉士交流会について (8月7日)

高齢者虐待対応専門職チームの研修の一環として市川市 I-Link にて交流会を開催した。

参加者 28名 (チームのメンバー11人を含む)

④ 高齢者虐待対応専門職チーム研修会について (8月8日)

チーム登録者のうち11名が参加。

⑤ 千葉県委託高齢者虐待防止対策研修 地域包括現任者向け (虐待対応ソーシャルワークモデル研修)

第1回目 8月31日、9月21日、9月28日

第2回目 11月24日、12月1日、12月8日

**相談事業部会報告事項**

① 福祉のしごと就職フェア

7/17 幕張メッセにて 2 名の相談員を派遣。(中田さん、西沢さん)

相談件数 13 件(相談人数 16 人)

一般 6 件、大学生 5 件、専門学校生 2 件

相談内容

- ・社協の性職員になるには
- ・相談員として働くには。
- ・社会福祉士の働く職場とは。
- ・MSW になるには。
- ・受験資格、勉強方法について
- ・資格の持つ意味について
- ・奨学金について

今後の参加予定

- ・淑徳大学キャリアフェスタ 10 月 16 日
- ・習志野市福祉ふれあいまつり 10 月 23 日
- ・福祉のしごと就職フェア・in ちば 10 月 30 日



## [研修委員会]

### 研修啓発部会

#### 【報告事項】

#### 1、ジェイシー教育研究所

→第一回 Web 模試問題。現在 9 月模試に向けてジェイシー教育研究所にてモニター中。問題・解答解説の差し替え、変更依頼が 2 件あり。

#### 2、日本社会福祉士会全国生涯研修委員会議

7月31日(土) 8月1日(日) 神田一彦氏 出席

#### 3、「モチベーション講座」

毎年1月に開催する直前対策講座を3回シリーズに変更し、時期を10月～12月に変更。グループディスカッションを含めた「モチベーション講座」として開講。

会場 : 千葉県社会福祉センター

参加費 : 5000 円

定員 : 50 名

- 内容:
- 1) 第一回目・・・社会福祉士の模擬試験を開催し、試験内容を個々に確認いたします。  
模擬終了後、試験内容の簡単な説明はいたしますが解答説明はいたしません。  
当日終了後、解答書にお渡しいたします。
  - 2) 第二回目、第三回目ともに重要科目の対策を講演し、午後は合否者を交えたグループディスカッション午後は合否者を交えたグループディスカッションを開催予定です。

#### ※予算書別

#### 4、7月24日(土) 第二回 部会開催 別紙議事録

## 第2回 研修啓発部会 会議録

日時 平成22年7月24日(土)

千葉県社会福祉センター 4階 事務局

AM5:30~6:30

出席者・・、染野理事、浅見部会長《記録》、

池田氏、堀井氏、神田氏

以上 5名

### 1) 実習指導者研修講習会について (二回目)

○7月22日 本部から会員へチラシ郵送済み 下記のとおり講師決定

平成22年2月14日 1日目・・藤代先生 清水先生、北爪先生

平成22年2月15日 2日目・・丸先生 藤野先生 須田先生

平日開催

場所・・淑徳大学 キャンパス内 (スクールバス使用可)

◎宿泊はなし、

◎懇親会の会場は未定 現在募集中

◎スタッフも現在募集中 西沢氏又は神田氏まで・・

### 2) モチベーション講座開催について

○個々の勉強の意識、モチベーションを高める必要性が重要と考える  
受験対策を縮小するかわり、同じ受験の悩みを持つ方々と学ぶ機会を設ける。

(提案者堀井氏より)

○合格した人以外での不合格になった人の話も聞きたいのではないかと?

10月~11月 3回に分けて講座を開催

1回目・・JC模擬試験(1回目)を行う その後、JCから試験の傾向を話してもってはどうか。

2~3回は重要科目講座及び法改正説明、体験講座とグループディスカッション、資格をとって仕事の喜びを話してもらう。

チラシ作製、タイムスケジュール作成

1回目 10月10日か17日 2回目 11月14日、3回目12月12日

場所社会福祉センター

定員50名予定

料金 6000円+食事代

### 2) JCウェブ模試試験について

第一回目模試作成終了・・まとめ染野理事が行う

来月中に第二回目の模擬作成を依頼予定

「ばあとなあ千葉第4回運営委員会 報告」

1. 実施日時：平成22年8月4日（水）18：00～20：00
2. 場 所：社会福祉センター(4階会議室)
3. 出席者：櫻井、石山、田中、出口、福島、片野、辻村、吉田、鈴木、中山、朽名  
(欠席：篠田) (記録担当：出口)
4. 議事：  
鈴木委員長より
  - 1) 後見受任者、受任候補者の能力向上、サポート体制の整備について  
現在、年2回研修やっているが、これを月に1回くらい勉強会の形で行う必要があるのではないか。受任者支援等いろいろなニーズがあり、初心者中心にサポート体制を組みたい。  
具体的には次の通り行うこととなった。
    - ・毎月の第3土曜日午後1時30分～3時30分に行う
    - ・第1回 9月18日（担当石山）
    - ・第2回10月16日（担当未定）
    - ・第3回11月20日（担当未定）
    - ・名称を「ばあとなあ千葉サポート」とする
    - ・案内はメーリングリストで、メーリングリストに加入していない人には書簡で知らせる。（原案→吉田作成）
  - 2) 後見受任件数の拡大
    - ・昨年度は79件の受任依頼があった。今年度は今のところ月10件のペースである。受任件数の拡大に向けて、今後、櫻井副委員長中心に渉外活動を行う。
    - ・サポート体制を強化することによって、スキルアップして受任件数の増加に繋げる。
    - ・コーディネートをやりやすくするために、年に最低2回、登録員宛にアンケートを実施する。次回は10月の会報に同封して実施する。
  - 3) 低報酬・無報酬事案への対応
    - ・継続審議とする。
  - 4) その他
    - ①コーディネート・マニュアルについて：  
前回提示された原案の修正案を事前に配布（別紙）。この内容につき、出席委員から異議なく、これにて実施すること決定。位置づけは、「ばあとなあ千葉運営委員会内規」とする。本マニュアルを次回会報(10月)に掲載し、ばあとなあ千葉会員に周知することとする。
    - ②ばあとなあ千葉運営要綱の検討（別紙片野案の検討）：  
事前配布の要綱改正案の内容について、検討。一部、文言の修正等あり、改めて修正案を作成し、次回委員会までに配布することとする（片野）。  
さらに、「ばあとなあ千葉後見人候補者名簿」の管理について、「ばあとなあ本部」

の規程では、支部で別途定めることになっているが、「ばあとなあ千葉」では、まだこれが定められていないようなので、次回委員会までに原案を作成して事前配布すること(片野)。

## 5. 各担当より報告等

### 1) 研修

- ・登録員研修→次回 11月14日
- ・支部委託研修→前半分のアンケートをまとめた。後半分は最後の日に回収する。
- ・活用講座～第10回支援者のための活用講座  
10/10・10/11の2日間で実施。講師派遣依頼中。  
チラシは点と線に同封予定、他関係機関に送付。

### 2) 法人後見

- ・3月で法人後見終了している。事務執行者に対する報酬について。

### 3) 広報

- ・7月発行済。好評である。次回は10月予定。

### 4) 虐待防止

- ・特になし

### 5) コーディネート

- ・上記4) ①の通り。

### 6) 会計

- ・4～7月までの執行状況について～別紙参照

### 7) 電話相談

- ・7/10・7/15・7/23の3回前任者と打ち合わせする。
- ・7/26 FAXで電話当番担当者に連絡する。(8～9月のシフト)

### 8) 渉外

- ・特になし

## 6 その他

- ・法人後見報酬について～本部ガイドライン等を参照に詳細について検討する必要あり。

次回10月6日(水) 18:00～

# ぱあとなあ千葉サポート

登録員・準登録員の皆様、ぱあとなあ千葉では定期的に勉強会を行い成年後見受任者に対する支援を行うことになりました。

毎月第3土曜日の午後を「ぱあとなあ千葉サポート」と称し皆様のご意見を取り入れながら成年後見受任に対する勉強会を行っていきたいと思います。

まずは、第1回目を下記の予定で実施いたします。ご都合をつけてどうぞご参加下さい。

日 時：平成22年9月18日（土）

午後1時半～3時半

会 場：千葉県社会福祉センター一会議室

参加費：無料

話題提供者：ぱあとなあ千葉

運営委員（研修担当）

石山 明子

## 「事実行為と

## 法律行為について」

13：30～14：00：話題提供

14：00～15：00：フリートーキング

15：00～15：30：個別相談等（自由テーマ）

権利擁護センターぱあとなあ千葉（電）043-238-2866

（電話相談日：毎週火曜・木曜 10時～16時）

## 第10回「支援者のための成年後見制度活用講座」

成年後見制度の一層の活用を図るため、福祉関係者一般を対象として、  
◇成年後見制度の基本的な理解  
◇成年後見制度の実践知識の習得  
を目指した成年後見制度活用講座を開催いたします。

- 期日：平成22年10月 10日（日）～ 11日（月・祝）  
2日間の講座時間は10時間です。（プログラム裏面参照）
- 場所：千葉県社会福祉センター4階（会場案内図別紙参照）
- 対象：福祉関係者一般、市町村行政関係者、市町村社会福祉協議会職員、相談機関・施設職員、地域包括支援センター・中核地域生活支援センター・地域活動支援センターほか
- 定員：60名（先着順とし、定員になり次第、締め切らせていただきます。）
- 受講料：会員 9,000円 一般 12,000円（テキスト代を含む）
- お申込み方法：受講申込書に必要事項を記載の上、郵送・FAX・メールにより、お申込みください。
- 申し込み〆切：9月17日（金）
- 受講費のお支払い方法：受講申込書を事務局へ送付後、郵便局にそなえつけの払込票により、9月27日までに下記口座へ受講費をお振込みください。

振込み先 ゆうちょ銀行  
口座番号 00170-0-713799  
加入者名 社）千葉県社会福祉士会  
通信欄 支援者のための活用講座 申込者氏名〇〇 〇〇  
（とお書き添えください）

- キャンセルについて：
  - ・ 9月27日までにご連絡いただいた場合はご返金いたします。
  - ・ FAXまたはメールで、氏名・ご連絡先・返金先の銀行口座を記載の上、事務局へお送りください。（大変恐縮ですが、振込手数料を差し引かせていただきますので予めご了承ください。）
- 注意事項：
  - ・ お断りのご連絡以外は事務局からは原則いたしませんのでご了承ください。
  - ・ 期日までに受講費のお振込みがない場合はキャンセルとなります。
  - ・ 払込票の控えを確認のため、当日お持ちください。受講票及び受講費の領収書は当日、受付にてお渡しいたします。
  - ・ テキスト及び補助教材のみの頒布はいたしません。

## □ プログラム

一日目:10月10日(日)

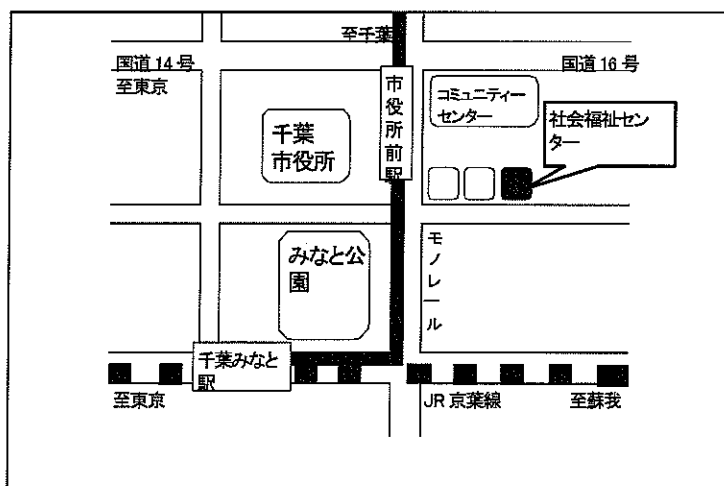
時間	科目・ねらい	講師
9:30~10:00	受付	
10:00~10:30	開会挨拶	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開会の辞 (オリエンテーション)</li> <li>・ 「ばあとなあ千葉」 概要説明</li> </ul>	「ばあとなあ千葉」 鈴木 勝英
10:30~12:00	講座①福祉サービス利用と成年後見 －福祉サービスの利用契約及び利用者支援の 仕組みについて理解する	「ばあとなあ千葉」 矢島 陽一
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~15:00	講座②成年後見制度の概要 －成年後見制度の理念、法定後見・任意後見の 概要について理解する	「千葉家庭裁判所」 講師～調整中
15:00~15:15	休憩	
15:15~16:45	講座③日常生活自立支援事業と成年後見制度 －日常生活自立支援事業の概要と成年後見制 度の関係について理解する	「千葉県後見支援セン ター」 講師～調整中

二日目:10月11日(月・祝)

時間	科目・ねらい	講師
9:30~10:00	受付	
10:00~10:05	オリエンテーション	
10:05~12:00	講座④成年後見人の職務 －成年後見人の権限や実務概要及び福祉専門 職との関係について理解する	「ばあとなあ千葉」 鈴木 勝英
12:00~13:00	昼食・休憩	
13:00~15:00	講座⑤法定後見等の申立て実務 －法定後見の申立ての流れや実務の概要につ いて理解する	「ばあとなあ千葉」 櫻井 勉
15:00~15:15	休憩	
15:15~16:45	講座⑥任意後見制度について －任意後見制度とその活用援助について理解 する	「ばあとなあ千葉」 井上 光晴
16:45~17:00	閉会挨拶、修了証書交付	

- ・ テキストは当日配布いたします。
- ・ 受講修了者には、修了書を交付いたします。会員については、本講座は生涯研修制度  
共通課程 10 単位に相当します。
- ・ 講師は都合により変更になる場合があります。

□ 会場案内図



**住所:** 千葉市中央区千葉港4-3

- JR 千葉駅前より、千葉都市モノレール(千葉みなと行)に乗車、千葉市役所前駅下車、徒歩3分
- JR京葉線千葉みなと駅下車徒歩10分

「支援者のための成年後見制度活用講座」受講申込書  
(平成22年10月10日～11日開催)

◇コピー使用可◇

① (ふりがな) 氏 名	連 絡 先
( )	住 所 〒
氏名 _____	TEL ( )
会員： 有(番号 )・ 無	FAX ( )
請求書： 要 ・ 否	請求書宛名
② (ふりがな) 氏 名	連 絡 先
( )	住 所 〒
氏名 _____	TEL ( )
会員： 有(番号 )・ 無	FAX ( )
請求書： 要 ・ 否	請求書宛名

※請求書が必要な方は、請求書宛名を記入してください。申込書を頂いてから1週間以内に郵送いたします。未記入の場合は、請求書を発行いたしませんのでご了承ください。また、領収書については、研修初日に全員に発行いたします。

□ 申込み先・お問合せ先

社団法人 千葉県社会福祉士会 事務局

〒260-0026 千葉市中央区千葉港4-3 千葉県社会福祉センター4階

TEL 043-238-2866

FAX 043-238-2867

E-mail office@cswchiba.com



**【事務局報告】**

○ 後援

- ・ 特定非営利法人 日本地域福祉研究所 第 16 回地域福祉実践研究全国セミナー 8 月 26 日～28 日
- ・ 千葉県健康福祉部 千葉県がん患者大集合 2010 9 月 5 日
- ・ 千葉県言語聴覚士会 設立 10 周年記念大会 11 月 7 日
- ・ 第 4 回認知症メモリーウォーク千葉 11 月 21 日

○ 協賛

- ・ 訪問介護フォーラム 2010 11 月 14 日

○ 来賓依頼

- ・ 千葉県言語聴覚士会 設立 10 周年記念大会 11 月 7 日 未定

○ 委員推薦

- ・ 浦安市社会福祉協議会理事 佐藤 光男

○ その他

- ・ 千葉県健康福祉部 第 2 回認知症対策推進協議会 8 月 6 日 北 昌司
- ・ 千葉県社協 安心生活創造事業取材依頼 8 月 10 日
- ・ 習志野社協 習志野市福祉ふれあいまつり 10 月 23 日
- ・ 市原市自立支援協議会 相談支援マップの掲載依頼
- ・ 千葉市社会福祉協議会 後見活動団体の情報提供依頼

**\*\*\*\* 会員情報 \*\*\*\***

8 月 16 日現在 正会員:1,178 名 (新入会:17 名、転入:5 名、転出:4 名、退会:0 名、)

➤ 8 月本部会員情報より

### 議事 1 社団法人千葉県社会福祉士会委員会体制について

下記のとおり理事会に諮ります。

#### 1. 委員会委員について

別添一覧（資料 18 ページ）のとおり委員の承認を求めます。

#### 2. 社団法人千葉県社会福祉士会負担金配分委員会準備会について

社団法人千葉県社会福祉士会負担金規則第 5 条に定める配分委員会について、以下のとおり準備会設置の承認を求めます。

- ・ 座長：五十嵐理事
- ・ 予算：5 万円(交通費等、3 月総会にて補正予算提示)
- ・ 委員構成：座長を含め 5 名程度。人選は五十嵐理事および三役で進め決定後理事会に報告

なお、平成 23 年度までに社団法人千葉県社会福祉士会委員会の設置及び運営に関する規程第 4 条に基づき理事会の承認を受けた上で、正式な委員会として活動開始します。

### 議事 2 協賛依頼への対応について

別添（資料 19 ページ）のとおり協賛依頼がありました。協賛金については予算化されておらず対応基準も定めていないため、対応について理事会に諮ります。

尚、過年度の経緯については以下のとおりです。

- ・ 平成 19 年度：初めて協賛依頼あり。実行委員に当時の本会理事が参画していたこと、本会会長の講演がプログラムに組み込まれたこと、当日資料に広告掲載可能なことから協賛承認。
- ・ 平成 20 年度：前年度に続き協賛依頼。前年度同様実行委員に参画していた理事を通じ、介護職の処遇改善に関する共同事業を検討いただくことを条件に協賛承認し広告掲載。（その後共同事業については進展なし）

# 平成22年度 委員会名簿

総務委員会	
委員長	櫻井 絢子
委員	五十嵐 伸光
委員	鈴木 将人
委員	高橋 恭子
企画部会長	森 悠子
広報部会長	

総合相談委員会	
委員長	森池 亜津子
委員	宮間 恵美子
地域包括部会	須田 仁
委員	西沢 将行
相談事業部会	久保田 貴子
委員	
相談事業部会	

研修委員会	
委員長	染野 貴寛
委員	浅見 雅人
研修啓発部会長	岡本 崇広
委員	神田 一彦
研修啓発部会	大野 地平
委員	小暮 清
研修啓発部会	笠原 栄作
委員	大澤 直樹
研修啓発部会	小川 智子
委員	君和田 豊
研修啓発部会	池田 雅弘
委員	井上 登紀子
研修啓発部会	堀井 恭子
委員	周藤 秀俊
研修啓発部会	伊藤 美和
副委員長	
ケアマネ部会長	
委員	
ケアマネ部会会計	

はぴとあなあ千葉運営委員会	
委員長	鈴木 勝英
副委員長	櫻井 勉
副委員長	吉田 愛子
委員	辻村 雄司
会計	片野 無事生
委員	朽名 高子
委員	篠田 仁美
委員	石山 明子
委員	田中 達也
委員	出口 紀子
委員	福島 節子
委員	中山 敏子

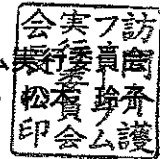
独立型社会福祉士委員会	
委員長	川島 隆太
委員	川崎 保規
活動養成部会長、会計	犬伏 謙介
委員	櫻井 勉
社会復帰支援部会長	薄井 哲子
委員	坂本 孝
委員	中山 敏子
委員	野田 滋
委員	辻村 雄司
委員	遠坂 貴志

外部評価委員会	
委員長	丸 晶
情報公表部会長	川島 隆太
副委員長	佐々木 博光
情報公表副部会長	田村 信之
委員	富樫 裕子
委員	
委員	

2010年7月吉日

千葉県社会福祉士会  
会長 神山裕也 様

訪問介護フォーラム  
実行委員会  
会長 松本玲子 様



訪問介護フォーラム2010への協賛のお願い

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、私たちは、訪問介護事業のホームヘルパーや事業者で実行委員会を構成して、介護保険が施行された2000年から毎年訪問介護フォーラムを開催し今年で10周年を迎えることになりました。

この間、制度改定、報酬改定等がありました。その都度、実行委員会では要介護高齢者やそれに従事するホームヘルパーの立場にたち、内容等を検証し、要介護高齢者が地域で住み続けるための重要なサービスである訪問介護事業の制度的な内容、及び、それに従事するホームヘルパーの賃金・労働条件等について社会的にアピールしてきました。参加者も定着してきています。

今回は10周年記念として、利用者や家族、ヘルパー、ケアマネジャーなどさまざまな人から訪問介護にちなんだ“ありがとう”の作品を集めた「ありがとう～訪問介護フォーラム10年のあゆみ～」を発刊します。又、当日は「我が家で老いを全うできるか!？」というテーマでノンフィクション作家沖藤典子氏にお話をいただき、その後、2012年の改定に向けて在宅介護の現状と課題についてシンポジウムを行います。

つきましては、上記趣旨をご理解いただき、「訪問介護フォーラム2010」にご協賛いただきたくお願い申し上げます。また、お返事は9月15日までにお知らせくださいますよう、重ねてお願い申し上げます。

記

1. 開催概要(開催要項は別添)

- 1) 日時:2010年11月14日(日)10:00~15:00(開場 9:30)
- 2) 会場:千葉市生涯学習センター ホール
- 3) 主催:訪問介護フォーラム実行委員会

2. 次の事項につき、ご協力をお願いします。

- 1) 貴団体の協賛名義使用の許可(フォーラム開催要項、資料集など)
- 2) 貴団体職員・事業所等への本フォーラムの開催案内
- 3) 本フォーラムの開催資金に充当するための協賛金(1口1万円)の拠金

実行委員一覧(敬称略・順不同)

松本玲子(千葉県ホームヘルパー協議会顧問)／四釜明子(千葉県ホームヘルパー協議会理事)／近藤けい子(千葉県介護福祉士会副会長)／松下やえ子(城西国際大学福祉総合学部准教授)／土屋亮子(千葉県たすけあい協議会会長)／北昌司(千葉県社会福祉士会)／香取達子(千葉県社会福祉協議会地域福祉推進部部长)／山田則子(ちばコープ福祉事業部事業所支援担当)／木曾雅弘(JA 千葉厚生連事業部部长)／山下圭子(生活クラブ千葉介護ステーションすくらむ所長)／日下直人(生活クラブ市原介護ステーション所長)／池田敬子(NPO ケアグループあい・あいサービス提供責任者)／角山美知子(ケアサービス虹代表取締役)／菊地民子(四街道市訪問介護事業者連絡協議会会長)木島美津子(四街道市訪問介護事業者連絡協議会副会長)／佐久間真弓(四街道市訪問介護事業者連絡協議会副会長)／橋本百合子(成田市ヘルパーの会)／山口久美子(成田市ヘルパーの会)／林亨(船橋市訪問介護事業者連絡会副会長)以上

# ＝訪問介護フォーラム 2010＝

お手数ですがご記入の上、FAX(043—248—1515)でお送り下さい。

「訪問介護フォーラム 2010」に協賛します。

○団体名 \_\_\_\_\_ (ご担当者名: \_\_\_\_\_)

○所在地 \_\_\_\_\_

○電話番号 \_\_\_\_\_ FAX 番号 \_\_\_\_\_

○E-mail: \_\_\_\_\_

○協賛金 \_\_\_\_\_ 円(1口1万円)

※ 協賛いただきました団体には、フォーラム当日資料の中に「宣伝欄」を設けさせていただきます。また、開催日当日、会場の一角に展示コーナーを設けますので、広告宣伝物を展示・配布いただくことが出来ます。ご要望の場合は別紙をご参照ください。その上で下記のいずれかに○を付けてください。

- フォーラム当日資料への「宣伝掲載」について ・ 掲載する ・ 掲載しない  
○開催日当日、展示コーナーに、広告宣伝物を展示・配布することについて  
・ 展示配布する ・ 展示配布しない

以上についてのお返事は 9 月 15 日まで、ご入金は 9 月 15 日までに下記までお願いいたします。

振込先: 千葉銀行 千葉市役所出張所 (店番号 076)

普通預金 口座番号 3056920

口座名: 千葉県介護福祉士会内訪問介護フォーラム

事務局 高羽 千寿子 (タカハ チズコ)

お問い合わせ・ご連絡先

千葉市中央区千葉港4-3

千葉県社会福祉センター／千葉県介護福祉士会内

「訪問介護フォーラム」事務局 担当: 近藤・松下

TEL.043—248—1451

FAX.043—248—1515

## 協賛団体各位

フォーラム当日資料の中に貴団体の「宣伝欄」を設けること、及び、会場の一角に展示コーナーを設けますので、広告宣伝物を展示・配布いただくことが可能です。

- 「訪問介護フォーラム2010」当日資料(作成部数・約200部)に、貴団体の広告掲載を行います。
  - 1コマの大きさは、縦14cm×10cm(A4の1/4)です。
  - 印刷は白黒であり、カラー印刷ではありません。
  - 掲載料は、1コマ1万円です。但し、協賛金を1万円いただいている団体の1コマについて掲載料は無料です。  
2コマをご希望される場合は、コマ数は、4コマ(A4サイズ)まで可能です。
  - 掲載いただく場合、原稿の締切日は 9 月 30 日です。
  - 原稿は電子媒体で E-mail: kai5nji@poem.ocn.ne.jp まで送信ください。
  
- 開催日当日、会場の一角に所定のコーナーを設け、協賛いただいた団体の広告宣伝物を展示・配布できるようにします。
  - ご希望される協賛団体は、当日会場までご持参下さい。